

2025（令和 7）年度

城西大学動物実験自己点検・評価報告書

2026（令和 8）年 7 月 20 日

城西大学動物実験管理自己点検評価委員会

本報告書は、城西大学動物実験規程第 12 章（自己点検・評価・検証）第 45 条に基づき、城西大学動物実験管理自己点検評価委員会が作成したものである。

作成日：2026（令和 8）年 7 月 20 日

作成者：一色恭徳（委員長）、中谷祥恵（副委員長）、和田政裕（委員）、石黒直哉（委員）、
内田昌希（委員）、五十嵐庸（委員）

動物実験に関する自己点検・評価報告書

城西大学

2026 年 7 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 ☐ 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 城西大学動物実験規程 城西大学における動物実験の適正な実施に向けたガイドライン 城西大学動物実験委員会 審査手順書 城西大学動物実験規程 別紙 (1) 城西大学における動物実験組織図
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) 環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」と文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」に則って、機関内規程(城西大学動物実験規程、平成 19 年 10 月 12 日制定・施行、令和 5 年 4 月 1 日一部改正)が定められており、適正であると判断できる。
4) 改善の方針、達成予定時期 改善すべき点は見当たらない。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 ☐ 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 城西大学動物実験規程 薬学部動物管理委員会規程 理学部動物管理委員会規程 生命科学研究センター運営委員会規程 動物実験関連委員会委員名簿
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) 基本指針に適合する動物実験委員会の下、動物実験管理委員会、各種関連委員会が組織され、適正に運営されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 改善すべき点は見当たらない。

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 ☐ 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 城西大学動物実験規程 城西大学における動物実験の適正な実施に向けたガイドライン 城西大学動物実験委員会 審査手順書 動物実験に関する書式（書式 1～書式 10）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 動物実験は城西大学動物実験規程に従って実験計画の立案（動物実験計画書、書式 1）、審査、手続きを経て、適正に実施される体制になっている。また、「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」に準じた、動物実験計画書の改訂（2025 年 1 月）がなされ、動物実験の適正実施に向けた改善が図られている。
4) 改善の方針、達成予定時期 改善すべき点は見当たらない。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 ☐ 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 城西大学動物実験規程 城西大学における動物実験の適正な実施に向けたガイドライン 城西大学遺伝子組換え実験安全管理規程 薬学部安全マニュアル、理学部安全マニュアル 城西大学薬学部 放射線障害予防規程 向精神薬試験研究施設設置者登録証
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 安全管理に注意を要する動物実験に関連する様式や手続きやマニュアル等が定められ適切に管理されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 改善すべき点は見当たらない。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 書式 4 飼養保管施設設置承認申請書 書式 5 実験室設置承認申請書 書式 6 飼養保管施設廃止届 書式 7 実験室廃止届 書式 9 飼養保管施設（変更・追加等）申請書 書式 10 実験室（変更・追加等）申請書 実験動物施設利用の手引（生命科学研究センター、薬学部動物施設、理学部動物施設） 城西大学 実験動物逸走防止及び逸走時の対応マニュアル 緊急時の対応マニュアル
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 飼養保管施設の設置、変更、廃止に関する要件および確認に必要な書式類が規程に定められており、各飼養保管施設の実験動物管理者により適切に管理されている。また、実験動物施設利用の手引において、生命科学研究センター、薬学部動物施設、理学部動物施設の飼育管理や運用について定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 改善すべき点は見当たらない。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

総括管理（動物実験委員会）、施設管理（動物実験管理委員会並びに各学部動物実験管理委員会）及び自己点検評価委員会と分けて運営している。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会の活動状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 城西大学動物実験規程 城西大学動物実験委員会 審査手順書 動物実験委員会会議録・活動報告 動物実験管理委員会議事録・活動報告 飼養保管施設の維持管理状況（視察結果等）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 城西大学動物実験規程等に基づき、学長の諮問機関として動物実験委員会が開催され、動物実験計画書等が指針、規程等に適合しているか審議が行われた。なお、動物実験委員会の開催前に動物実験管理委員会において、動物実験計画書等が適切であるか判断が行われており、審査手順書に基づいた活動が行われている。 「遺伝子組換え生物等の使用等に係る事故」に対する事後対応について、迅速かつ適正に対処されたことが経過報告ならびに最終報告資料により確認できた。また、再発生防止に向けた動物管理委員会ならびに飼養保管管理者への指示についても適切に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 改善すべき点は見当たらない。

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☐ 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験委員会会議録 動物実験管理委員会議事録 城西大学動物実験委員会 審査手順書 書式 1 動物実験計画書 書式 2 動物実験結果報告書 書式 3 動物実験計画（変更・追加）承認申請書

書式 8 動物実験終了・中止報告書 動物実験の自己点検票（様式 2-1）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験計画書等を審査し、学長の承認を得た。また、2025 年度に実施されたすべての動物実験計画について動物実験結果報告書および動物実験の自己点検票が提出され、動物実験の実施状況の把握がされている。しかし、「予定通り実施」報告を受けた実験においても使用動物数の顕著な減少に至った事例が 2 例（JU25030、JU25057）ある。動物実験委員会による審査基準の再確認と動物実験責任者に向けた報告義務事項の徹底を要する。
4) 改善の方針、達成予定時期 動物実験の実施計画と報告の適正化を申請者に促し、周知徹底を図る。

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☐ 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 該当する動物実験を行っていない。
2) 自己点検の対象とした資料 城西大学動物実験規程 城西大学遺伝子組換え実験安全管理規程 圧力容器定期自主検査表（大型、小型） 安全管理に注意を要する動物実験計画書一覧 動物実験の自己点検票（様式 2-1） 遺伝子組換え実験に関する定期報告書 実験動物飼養施設報告書（生命科学研究センター） 「遺伝子組換え生物等の使用等に係る事故」事故報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 組換え DNA 実験安全委員会では、遺伝子組換え実験の申請時に法令に適合した P1A 動物施設を使用すること確認している。このように、「城西大学遺伝子組換え実験安全管理規程」に基づく遺伝子組換え動物の取り扱いについても、周知・徹底が図られているにもかかわらず、「遺伝子組換え生物等の使用等に係る事故」の発生に至った。実験動物飼養施設報告書（生命科学研究センター）および「遺伝子組換え生物等の使用等に係る事故」報告書より、事故要因は、動物実験の実施における基本的な確認作業の欠落が要因ではある。しかし、組換え動物の取り扱いにあたっては、「城西大学遺伝子組換え実験安全管理規程」を順守し、遺伝子拡散の防止行動の徹底を図る必要がある。
4) 改善の方針、達成予定時期 動物実験委員会ならびに組換え DNA 実験安全委員会の間で情報共有を進め、遺伝子拡散の防止の

観点から、遺伝子組換え動物の取り扱いに関する規定・マニュアルの検証と適正化を図り、実験管理者ならびに実施者と共有することが急務である。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果

- ☐ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

実験動物施設利用の手引（生命科学研究センター、薬学部、理学部）
 実験動物飼養管理業務標準手順書（生命科学研究センター）
 SPF モニタリング検査成績（生命科学研究センター）
 動物施設環境検査実務報告書（生命科学研究センター）
 作業点検日報
 実験動物飼養保管状況の自己点検票
 実験動物飼養施設報告書
 実験動物の飼養保管状況一覧
 飼養保管施設の維持管理状況（視察結果等）
 2024 年度外部検証結果報告書

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

実験動物飼養施設報告書により、下記報告を受けた。
 ・ 16、21 号館：一部の利用者による餌切れ等が発生した。

4) 改善の方針、達成予定時期

実験動物管理者により、実験動物が適切に飼養保管されている。しかしながら、16 及び 21 号館において一部の利用者による餌切れ・水切れ等が発生している。指摘後の飼育状況は改善されているものの、実験動物の適切な飼養保管のため、今後も利用者に対してより一層の注意喚起を要する。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果

- ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

書式 4 飼養保管施設設置承認申請書
 飼養保管施設一覧
 実験動物飼養保管状況の自己点検票

飼養保管施設の維持管理状況（視察結果等） 入退室記録
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 施設の設置時に動物実験規程にて定められた設置基準を満たしていることを動物実験委員会が確認している。また、毎年提出される実験動物飼養保管状況の自己点検票を受けて、動物実験委員会が視察を行い、施設が適正に維持されていることを確認している。
4) 改善の方針、達成予定時期 改善すべき点は認められない。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 ☐ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 教育訓練開催通知 教育訓練プログラム 教育訓練資料（動画・スライド） 教育訓練受講者名簿 実験動物管理者の教育訓練受講修了証・回覧記録 動物実験委員会会議録・活動報告 動物実験管理委員会議事録・活動報告
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 実験動物管理者については、実験動物管理者の代表者が公私立大学実験動物施設協議会主催の「実験動物管理者の教育訓練」を受講し、他実験動物管理者等に情報共有を行うことで専門情報を習得している。動物実験実施者に対し、基本指針に則した教育訓練が実施されていることを確認した。しかし、「動物実験の実施状況」および「安全管理に注意を要する動物実験の実施状況」で指摘対象とされた事例は、動物実験実施者の実験動物ならびに飼育器具の管理・取り扱いに関する基本作業の怠慢にあることは拭えない。
4) 改善の方針、達成予定時期 実験動物管理者ならびに実施者の双方の視点から、動物実験ならびに動物の飼養に対する規定・マニュアルの検証と適正化を図り、今後の教育訓練に反映させる必要である。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。

☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 城西大学動物実験自己点検・評価報告書 動物実験委員会ホームページ (https://www.josai.ac.jp/jikken/animalexam/)
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 動物実験管理自己点検評価委員会を介して実施し、城西大学における動物実験について自己点検が実施されている。また、城西大学動物実験委員会のホームページにて、城西大学動物実験自己点検・評価報告書をはじめとした城西大学における動物実験に関する情報を公開している。
4) 改善の方針、達成予定時期 改善すべき点は見当たらない。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

該当事項は見当たらない。

2025(令和7)年度 動物実験実施状況(動物実験管理自己点検評価委員会)

動物申請数、使用数										研究成果(卒業論文・修士論文等は備考に記載)			実験の結果						
動物種	ラット				マウス		両棲類		魚類		学会発表	誌上発表	備 考	計画どおり実施		一部変更・追加して実施*		中止	使用数 “0”のもの
承認番号	申請数	(内 胎児・出産児)	使用数	(内 胎児・出産児)	申請数	使用数	申請数	使用数	申請数	使用数				継続	終了	継続	終了		
JU 25001	108		42													▽			
JU 25002	36		22		36	25											▽		
JU 25003					280	164										○			
JU 25004					300	304										○			
JU 25005					108	48						1	論文			▽			
JU 25006	144		60													▽			
JU 25007	45		48										卒業研究課題			○			
JU 25008	48		77										卒業研究課題			△			
JU 25009	39		41										卒業研究課題			○			
JU 25010	48		48											○					
JU 25011	30		30									1	論文予定		○				
JU 25012					80	80								○					
JU 25013					80	80								○					
JU 25014					40	40								○					
JU 25015					108	108					1			○					
JU 25016	60		60								1				○				
JU 25017	80		80								1			○					
JU 25018					64	64								○					
JU 25019	30		0													▽			1
JU 25020	20		5		40	0										▽▽			1
JU 25021	4		0										学生実習				▽		1
JU 25022	110		110		450	450							学生実習	○					
JU 25023					60	21							学生実習			▽			
JU 25024	96		96											○					
JU 25025	96		0		120	5										▽▽			1
JU 25026	72		72		108	20										○▽			
JU 25027	4		0										中止 学生実習					1	1
JU 25028	260		250								2		卒業研究課題	○					
JU 25029					200	200							卒業研究課題	○					
JU 25030	150		134										卒業研究課題	▽					
JU 25031					120	120							卒業研究課題	○					
JU 25032	30		30									1		○					
JU 25033					80	80							卒業研究課題	○					
JU 25034	120		0										中止					1	1
JU 25035	30		0		30	0							中止					1	1
JU 25036					76	28					2						▽		
JU 25037					70	99					2						△		
JU 25038					48	22					1						▽		
JU 25039					10	9									○				
JU 25040	88		72		220	196							学生実習	▽	▽				
JU 25041					45	45					1			○					
JU 25042	30	154	24									1	論文予定			▽			
JU 25043					48	6						1	論文予定				▽		
JU 25044	40		40									1	論文予定	○					
JU 25045	40		40								1			○					
JU 25046	40		40									1	論文予定	○					
JU 25047					10	10						1	論文予定	○					
JU 25048					215	226					1		卒業研究課題			○			
JU 25049	39	300	39	300								1	論文予定	○					
JU 25050	30		30									1	論文予定	○					
JU 25051	54		52										学生実習	○					
JU 25052	40		40									1	論文予定	○					
JU 25053	15	120	13		0	5										△▽			
JU 25054					200	200					2			○					

動物申請数、使用数											研究成果(卒業論文・修士論文等は備考に記載)			実験の結果					
動物種	ラット				マウス		両棲類		魚類		学会発表	誌上発表	備 考	計画どおり実施		一部変更・追加して実施 *		中止	使用数 “0”のもの
承認番号	申請数	(内 胎児・出産児)	使用数	(内 胎児・出産児)	申請数	使用数	申請数	使用数	申請数	使用数				継続	終了	継続	終了		
JU 25055	20		0		320	241					1					○	○		1
JU 25056					320	300							卒業研究課題	○					
JU 25057					320	280							卒業研究課題	▽					
JU 25058	130		68										学生実習			▽			
JU 25059	63		63									1	論文予定	○					
JU 25060					144	7						1	論文			▽			
JU 25061					144	40						1	論文			▽			
JU 25062					144	0										▽			1
JU 25063					255	55					1		卒業研究課題			▽			
JU 25064					64	0										▽			1
JU 25065					45	0													
JU 25066	75		30										修士論文課題			▽			
JU 25067	80		25										修士論文課題				▽		
JU 25068	30		0										中止					1	1
JU 25069					42	0						1	論文予定			▽			1
JU 25070	48		30		60	60							学生実習			▽○			
JU 25071					48	80							修士論文課題			△			
JU 25072					60	32							修士論文課題			▽			
JU 25073					50	0										▽			1
JU 25074					48	50							学生実習			○			
JU 25075	160		0										中止					1	1
JU 25076							131	125						○					
JU 25077							40	40						○					
JU 25078					4	1										▽			
JU 25079					4	1										▽			
JU 25080					8	1										▽			
JU 25081							8	8						○					
JU 25082					10	7						1	修士論文課題 論文予定			▽			
JU 25083									600	600		1	修士論文課題 論文予定	○					
JU 25084					110	0							中止					1	1
JU 25085					190	0							中止					1	1
JU 25086	24		0													▽			1
JU 25087	12		8										学生実習			▽			1
JU 25088					40	0											▽		1
JU 25089					38	0										▽			1
JU 25090					20	10						1	論文予定				▽		
JU 25091	300		0										中止					1	1
JU 25092	30		0		60	0							中止					1	1
JU 25093					54	91											△		
JU 25094					60	60								○					
JU 25095					14	14							学生実習	○					
JU 25096	60		0		160	0							中止					1	1
JU 25097					60	0							中止					1	1
JU 25098					60	30						1	論文予定			▽			
JU 25099					60	3										▽			
合計	3108	574	1819	300	6262	4018	179	173	600	600	17	19						11	24

※ 「計画どおり実施」、「一部変更・追加して実施」の「▽」は申請数に対する使用数が10%以上減少、「○」は申請数に対する使用数の増減が10%未満、および「△」は申請数に対する使用数が10%以上増加を示す。

※ 記号朱書きは、計画時より増加したもの

動物実験申請総数:99 中止件数: 11 総使用動物数: 6910 学会発表数: 17 誌上発表数: 19

2025年度 動物実験委員会活動報告書

学内委員：木村光利（委員長）、清水純（副委員長）、小林順、北川浩子、高木豊、森田勇人、
茂木肇、中田博之、

学外委員：鈴木研太、須長陽子

事務局：小山峻嗣（事務長）、富田惇輝（事務長補佐）、三橋秀行、玉井彩子

1 2025年度動物実験委員会活動計画

- 1) 2025年度の動物実験管理委員会への動物実験実施計画書の募集を依頼
- 2) 定期的な動物実験実施計画書の審査を実施
- 3) 臨時の動物実験実施計画書の募集とその審査を実施
- 4) 動物実験管理委員会へ動物実験実施報告書の提出を依頼
- 5) 動物実験管理委員会へ新規実験室設置承認申請書の提出依頼と調査の実施依頼

2 2025年度の動物実験委員会活動報告

- 1) 外部委員出席の下で、動物実験施設設置（変更）の承認および定期的な動物実験実施計画書の審査を実施した。

- (1) 第1回 日時：2025年4月15日、13時45分～14時20分、於：薬学部1階会議室
・実験施設設置承認許可（新規・変更・廃止等）申請書（新規：受付番号 R07001、廃止：LH23001）が提出された。

本学の動物実験規程に基づき審査を実施し、全ての施設に関し承認された。

- ・実験計画申請書類数 94 件（受付番号 07001～07094）（内新規動物実験実施計画書 15 件）が提出された。

本学の動物実験規程に基づき、新規の C と D を中心とした審査を実施し、全ての計画書に関し承認された。

計画書の内訳ランク A 0 件、B18 件、C12 件、D64 件

- (2) 第2回 日時：2025年9月29日、10時00分～10時30分、於：薬学部1階会議室
・動物実験計画書に関し、新規申請書（受付番号 07095～07099 5 件）が提出された。

本学の動物実験規程に基づき審査を実施し、全て承認された。

新規申請書内訳ランク A 0 件、B1 件、C0 件、D4 件

- 2) メール会議による臨時の審査を実施した。

日時：2025年7月3日～2025年7月7日

動物実験計画に関し、変更届（承認番号 JU25037）が提出された。メール会議にて本学の動物実験規程に基づき臨時審査を実施し、承認された。

- 3) 動物実験管理委員会から提出された 2024 年度の動物実験実施報告書の審査を実施した。

日時：2025年4月15日、13時45分～14時20分、於：薬学部1階会議室

実施報告書 101 件（承認番号 JU24001～JU24101）（101 件）が提出された。

本学の動物実験規程に基づき審査を実施し、全て承認された。

3 2025年度の動物実験委員会活動の自己評価

報告書の提出・審議状況より、1. 2025年度動物実験委員会活動計画の1)～5)を適正に実行できたものと考えられる。

4 その他

1) 2025 年度「動物実験に関する教育訓練及び施設利用説明・講習会」について

集合研修および確認テストにより実施した。なお、病院実習等によりやむを得ず欠席した者については、動画視聴および確認テストを実施した（参加者：360 名）

第 1 回 日時：2025 年 4 月 25 日（金）15：00～17：30

第 2 回 日時：2025 年 5 月 10 日（土）10：00～12：30

2) 2025 年度「飼養保管施設の維持管理状況」について

動物実験委員会委員による視察が行われ、施設は適正であることが確認された。なお、21 号館において一部の利用者により餌切れおよび水切れが発生したとの報告があったが、視察時に問題は確認されなかった。また、当該利用者に対しては適宜注意喚起がなされているとの報告を受けている。

3) 2025 年度「動物実験室の自己点検」調査について

「動物実験室の定期的な点検」に対応するため、動物実験室の責任者による自己点検を実施した。

日時：2025 年 9 月 24 日～2025 年 10 月 3 日

4) 2025 年度「実験動物慰霊式」について

2025 年度「実験動物慰霊式」を対面および個別参拝により実施し、実験に供された動物への感謝をこめて供養を行った。（参加者 203 名）

日時：2026 年 3 月 13 日（金）

5) 遺伝子組換えマウスの飼育室外搬出事故について

11 月 4 日、飼養保管施設である生命科学研究センター503 室（P1A）で発見された「遺伝子組換えマウスの飼育室外搬出事故」を受け、動物実験委員会として事故報告の対応を行った。

以上

2026年4月16日（木） 木村 光利（委員長）、玉井 彩子（事務局）

2025 年度動物実験管理委員会活動報告

委員会名	動物実験管理委員会
メンバー	委員長 河合、副委員長 須永、田中享、大島新、菊地、佐野、岩田、松崎、根岸、望月（JAC）
会議回数	3 回（メール会議 2 回含）
年度初めの計画	1. 教育・訓練の実施 → 生命研、薬学部動物管理委員会合同にて実施 2. 中間期での動物実験計画書、動物実験室等の追加等の作成依頼および予備審査、動物実験委員会への提出 3. 2025 年度動物実験結果報告書の作成依頼および予備審査 4. 2026 年度動物実験計画書等の作成依頼および予備審査 5. 動物慰霊式の開催 → 生命研、薬学部動物管理委員会合同 6. 2025 年度動物実験結果報告書、2026 年度動物実験計画書等の提出 → 動物実験委員会へ
実施状況結果	1. 動物実験委員会、生命科学研究センターおよび薬学部動物管理委員会との合同で、2025 年度「動物実験に関する教育訓練及び動物施設利用説明・講習会」を実施した（2025 年 4 月 25 日、5 月 10 日）。講習内容の理解を促すために終了後に Forms にて確認テストを実施した。 2. 中間期での動物実験計画書、動物実験室等の追加等の提出を依頼し（7 月）、予備審査と修正の後、動物実験委員会に提出した（9 月）。報告書の加筆修正が必要となった書類については、修正内容が確認できるように修正前の書類を保存した。 3. 2025 年度動物実験結果報告書の作成を依頼し（2025 年 1 月）、予備審査した（2026 年 3 月）。報告書の加筆修正が必要となった書類については、修正内容が確認できるように修正前の書類を保存した。 4. 2026 年度動物実験計画書等の作成を依頼し（2026 年 1 月）、予備審査した（2026 年 3 月）。計画書の加筆修正が必要となった書類については、修正内容が確認できるように修正前の書類を保存した。 5. 動物実験委員会から依頼のあった動物慰霊式を実施した。 日時：2026 年 3 月 13 日（金） 11：00～11：20 場所：23 号館 209 教室 参加者：203 名（記帳 73 名を含む） 6. 2025 年度動物実験結果報告書、2026 年度動物実験計画書等を動物実験委員会へ提出した（2026 年 3 月）。
活動の評価	1. 概ね滞りなく実施できた。教員の参加について、講座・研究室で教員 1 名のみ参加すればよいと誤解して 2 年続けて参加しなかったケースが発生した。次回は、動物実験を実施する利用者は必ず出席することにするなど、通知の表現を工夫する必要がある。 2. — 6. 例年通り適切に実施された。

2025（令和 7）年度 動物実験管理自己点検評価委員会活動報告

委員会名	動物実験管理自己点検評価委員会
委員	委員長 一色恭徳 副委員長 中谷祥恵 委員 和田政裕、石黒直哉 内田昌希 五十嵐庸
会議回数	1 回（メール会議）
実施状況と結果	（1）各実験動物委員会報告を受け、取りまとめと評価について会議を実施した。本委員会は、全学動物実験管理委員会委員長からの指示により、2024（令和 6）年度 城西大学動物実験自己点検・評価報告書を学長へ提出した。
活動の評価	城西大学動物実験自己点検・評価報告書の作成は、予定通りにおこなうことができた。

2025（令和 7）年度 第 1 回 動物実験管理自己点検評価委員会（メール会議）議事録

審議者 一色 中谷 和田 石黒 内田 五十嵐

期 間 2025（令和 7）年 7 月 25 日～2025（令和 7）年 7 月 31 日

議案

1. 2024（令和 6）年度 動物実験管理自己点検評価委員会報告書（案）について
2024（令和 6）年度 動物実験管理自己点検評価委員会報告書（案）について、メール会議により審議をおこない、原案通り承認された。

以上

2026 年 7 月 15 日

2025 年度 実験動物飼養施設報告書

1 飼養保管施設の名称	16 号館動物室
2 管理者氏名	岡崎 真理
3 実験動物管理者氏名	菊地 秀与
4 保守・点検 ※生命科学研究センターは環境検査・ モニタリング検査も記入	2025 年 7 月 8 日 (火) に空調機器保守等の実施
5 消毒作業	2025 年 7 月 10 日 (木) より 2 日間で実施
6 設備の設置・修繕	2025 年 10 月 9 (木) ラット IVC 飼育装置 排気飼育装置交換修理
7 事故 (動物の施設外逸走 や動物による危害等) の有 無	☒ 無 ☐ 有 ※下記に内容を記入
8 その他、飼養保管に際し て生じた問題等	特になし
9 自己評価・報告等	利用者の適正利用により年間を通して概ね良好な飼養環境が維持された。引き続き飼育 (給餌や床がえ) の怠慢等を防止する、利用者のマナー向上にむけた注意喚起等を行うことで、適正利用を推進していく。

2026 年 7 月 14 日

2025 年度 実験動物飼養施設報告書

1 飼養保管施設の名称	21 号館動物室
2 管理者氏名	岡崎 真理
3 実験動物管理者氏名	八巻 努
4 保守・点検 ※生命科学研究センターは環境検査・ モニタリング検査も記入	
5 消毒作業	2025 年 7 月 16 日 (水) より 2 日間で実施。
6 設備の設置・修繕	特になし
7 事故 (動物の施設外逸走 や動物による危害等) の有 無	☒ 無 ☐ 有 ※下記に内容を記入
8 その他、飼養保管に際し て生じた問題等	一部の利用者において、下記のことが確認された。 ・餌切れ・水切れ等が複数回発生していた。 ・床敷の交換頻度が不適切であった。
9 自己評価・報告等	多くの利用者の適正利用により年間を通して概ね良好な飼養環境が維持されたが、一部の利用者において、餌切れ・水切れ、床敷に関連する問題が複数回発生しており、当該利用者には注意を促した。今後も飼育 (給餌や床がえ) の怠慢等を防止する、マナー向上にむけた注意喚起等を行うことで、適正利用を推進していく。

2026 年 7 月 14 日

2025 年度 実験動物飼養施設報告書

1 飼養保管施設の名称	理学部動物室
2 管理者氏名	飯田 正敏
3 実験動物管理者氏名	森田 勇人
4 保守・点検 ※生命科学研究センターは環境検査・ モニタリング検査も記入	マウス室及び水棲生物室共に清掃、各フィルターの交換等適 宜行われていた。
5 消毒作業	2025 年 10 月に行い、問題無いとの報告があった。
6 設備の設置・修繕	マウス室(23-612)に非常電源幹線切替工事を行った。
7 事故(動物の施設外逸走 や動物による危害等)の有 無	☒ 無 ☐ 有 ※下記に内容を記入
8 その他、飼養保管に際し て生じた問題等	問題はなかった。
9 自己評価・報告等	利用者は動物室の使用ルールを遵守して利用していた。ま た、動物運搬では配布された収納バックにより運搬していた。

2025 年 7 月 14 日

2025 年度 実験動物飼養施設報告書

1 飼養保管施設の名称	22 号館実習用動物保管庫、
2 管理者氏名	岡崎 真理
3 実験動物管理者氏名	一色 恭徳
4 保守・点検 ※生命科学研究センターは環境検査・ モニタリング検査も記入	7 月 11 日(金)と12 月 11 日(金)の 2 回にわたり、空調機器保 守等を実施
5 消毒作業	7 月 14 日(月)より 2 日間で実施
6 設備の設置・修繕	該当なし
7 事故(動物の施設外逸走 や動物による危害等)の有 無	☒ 無 ☐ 有 ※下記に内容を記入
8 その他、飼養保管に際し て生じた問題等	特になし
9 自己評価・報告等	昨年度飼育環境改善の指示を受け、本年度は利用講習会に おける周知徹底を図った。そのため、利用に際しての改善事 項報告は無く、適切な利用が進められた。

2026 年 7 月 1 日

2025 年度 実験動物飼養施設報告書

1 飼養保管施設の 名称	生命科学研究センター
2 管理者氏名	須永 克佳
3 実験動物管理者 氏名	木村 光利
4 保守・点検 ※生命科学研究センタ ーは環境検査・モニタリン グ検査も記入	[SPF モニタリング検査] 6 月 3 日 異常なし 9 月 30 日 異常なし 2 月 3 日 異常なし [SPF 免疫不全モニタリング検査] 6 月 3 日 異常なし 9 月 30 日 異常なし 2 月 3 日 異常なし [保守点検] 2 月 18 日 高圧蒸気滅菌装置(大型・小型) 異常なし [その他] 7 月 16 日 ダムウェーダー点検(更新費用見積もりのため)
5 消毒作業	7 月 22 日～7 月 31 日 異常なし
6 設備の設置・修繕	[修繕] 4 月 15 日 4 階飼育室 3(405 室) 排水ピット経年劣化による水漏れ 4 月 21 日 玄関外階段 ひび割れ 6 月 6 日 5 階 SPF ドア ドアクローザー破損による部品落下 6 月 9 日 玄関ドアの立て付け不具合、開錠レバーの経年劣化による ぐらつき 7 月 24 日 4 階飼育室 5(407 室) 排水ピット経年劣化による水漏れ 8 月 19 日 5 階 SPF 飼育室 3(505 室) 照明の不具合による点灯不 良 9 月 16 日 4 階飼育室 7(412 室) 自動給水ノズルの水漏れ 10 月 3 日 4 階飼育室 2(404 室)、飼育室 7(412 室) バルブ故障 10 月 21 日 4 階飼育室 3(405 室) 自動給水配管破損、バルブ交換 11 月 5 日 4 階飼育室 2、3、7(404、405、412 室)、5 階 SPF 飼育室 1 (503 室) 減圧弁交換 1 月 13 日 5 階 SPF 飼育室 1(503 室) 飼育ラックの水抜きコックの 水漏れ

	[整備] 4月18日 クリーンベンチ移設 (21号館動物室からコンベ実験室2へ) 6月18日 高圧蒸気滅菌装置 部品交換 10月22日 温湿度センサー交換 11月5日 温湿度センサー交換
7 事故(動物の施設外逸走や動物による危害等)の有無	□無 ■有 ※下記に内容を記入 ● 自動給水ノズルからの水漏れによるラット死亡事故 ● 遺伝子組換えマウスの飼育室外搬出事故(文部科学省報告) ● マウス逸走・捕獲
8 その他、飼養保管に際して生じた問題等	●利用者によるネズミ返しの設置不十分 ●利用者による仔マウス屍体のケージ内見落とし ●利用者によるケージ蓋留め具の未固定
9 自己評価・報告等	1)運用改善・周知 ● 従来のモニタリング検査項目である「血清反応Ⅰ」に加え、2025年度より「鏡検セット(寄生虫検査)」を追加した。 ● 同一日内に複数動物施設に入室する際の入室順について注意喚起を行った。 2)問題等の改善策 ● 利用者による仔マウス屍体のケージ内見落としについては、該当者および研究室主任に注意喚起を行った。 ● 利用者によるネズミ返しの設置不十分およびケージ蓋留め具の未固定については、該当者および研究室主任に対して注意喚起を行った。また、動物実験関連委員会と連携し、学内の動物実験従事者に対して適切な使用について周知を行った。 3)事故再発防止策 ● 「自動給水ノズルからの水漏れによるラット死亡事故」を受け、減圧弁の交換および新型ノズルへの更新を行った。 ● 「遺伝子組換えマウスの飼育室外搬出事故」を受け、以下対応を行った。 (1)該当研究室と飼育担当者の飼育管理作業分担表を作成し、各作業の役割を明確化した。 (2)逸走防止の観点から、飼育室及び実験室の全扉にネズミ返しを設置した。 (3)動物実験委員会により「城西大学 実験動物逸走防止及び逸走時の対応マニュアル」の改定が行われ、ケージ交換時における残存動物の確認について追記がなされた。また、マニュアル改定

	の内容について関係各位へ周知を行った。 施設の経年劣化に伴う不具合等が認められたものの、随時修繕を実施し、適切に対応した。また、委託業者(株式会社ジェー・エー・シー)の適切な管理の下、良好な飼育環境を維持できたものと考えられる。 加えて、利用者による不適切な利用等により複数の事故が発生したものの、動物実験委員会および組換え DNA 実験安全委員会と連携し、いずれも適切に対応するとともに、再発防止策を講じた。
--	--